

背景

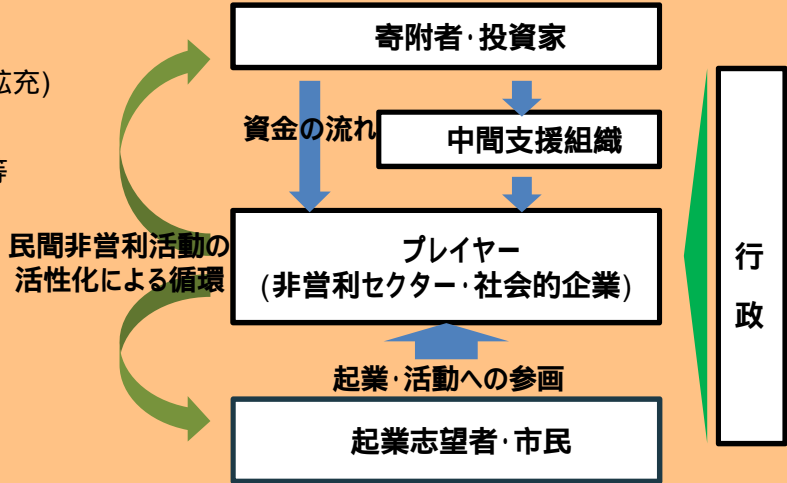
日本国内では、NPOや社会的企業など新たな公共の担い手の増加、CSRへの関心が進む一方、世界では、寄附や投資等を通じた公益活動(フィランソロピー)が新たな時代の潮流に
 都市発展の歴史において民の力が大きな役割を果たしてきた大阪において、官の発想を超える民間のダイナミズムを社会の中心に据え、「民」主役の社会づくりを発信するために、多様な担い手が法人格の縦割りや営利・非営利の区分を超えて集う「核となる場」として「民都・大阪」フィランソロピー会議を設立
 「民都・大阪」の存在感を国内外に示すことで、大阪に第2の動脈(フィランソロピー・キャピタル)を取り込み、非営利セクターの活性化を通じて、「フィランソロピーにおける国際的な拠点都市」をめざす

(仮称)フィランソロピー大会OSAKA2018

目的: フィランソロピー会議の設立など、民都・大阪における社会的課題解決に向けた新たな連携等の取組みを広く国内外に発信し、フィランソロピーの国際拠点都市の実現につなげる
時期: 未定
場所: 未定
内容: 未定 検討例 「民都・大阪」フィランソロピー会議・分科会の設置について
 「民都・大阪」フィランソロピー都市宣言の採択、賛同者紹介
 基調講演やパネルディスカッション など
主催: 「民都・大阪」フィランソロピー会議(事務局:大阪府・大阪市副首都推進局)

ターゲット・ねらい等

- 寄附者・投資家**
(フィランソロピー都市宣言への賛同等、民間非営利活動に対する資金・経営面の支援拡充)
- 中間支援組織**
(それぞれの分野へのフィードバック等により、法人格を超えた新たな連携・協働への支援等)
- プレイヤー**
(新たな連携等によるソーシャルイノベーションの創出や活動・成果の見える化の促進等)
- 行政・関係機関**
(必要な規制緩和や柔軟な制度運用など、行政における民間公益活動促進の取組み)
- 起業志望者・市民**
(民間非営利分野での自己実現や、活動への参画促進等)



論 点

開催時期

- ・いずれの時期、平日・休日、開催の時間帯 など

会場

- ・収容人数、具体的な施設 など
(会場費は大阪府・大阪市副首都推進局で予算確保)

運営

- ・大会開催に協力いただける運営スタッフ・ボランティアを募ってはどうか
- ・2019以降の大会では、フィランソロピー都市宣言への賛同者に大会開催への協力等を求めることも検討

内容(案)

- ・メンバー紹介、挨拶(知事・市長等)
- ・「民都・大阪」フィランソロピー会議の設立趣旨・概要について【事務局より説明】
- ・基調講演やパネルディスカッション
- ・大阪におけるフィランソロピー、非営利セクターの現状についての報告
- ・分科会における検討状況の報告
- ・フィランソロピーの促進・非営利セクターの活性化に向けたディスカッション
- ・フィランソロピー都市宣言の採択